

あゆみ ayumi

vol.95



ごあいさつ

新年度がスタートします。プロ野球など多くのスポーツが始まる時期でもあり、新規一転新戦力で戦える面白さもあります。去年最下位でも今年優勝することは可能ですから。しかし現実の世の中はそうはなりません。毎日、毎月、毎年の積み重ねでより良い職場を作っていくしかありません。ご利用者のみなさまにいかに心落ち着く環境を提供できるか、職員がいかに誇れる職場にできるか、全ては日々の積み重ねなのです。

4月から新たにあゆみ保育園が事業所内保育園から認可保育園に生まれ変わりました。これも設立以来の3年間の実績が評価されてのことだと思います。また、デイサービスセンターも新たなコンセプトのもとで再スタートし、地域包括支援センターも訪問看護ステーションと統合し、より一層利便性が向上しました。

あゆみえん本体の特養フロアも医療体制の充実を新年度の目標として動き始めています。これからも地域で一番に選ばれる施設を目指して、職員一同力を合わせてまいりますので、ご支援よろしくお願いいたします。

園長 五島泰嗣

法人理念

「働き易い職場を創り、快適なサービスを提供する。」

あゆみ保育園だより

～開園式典 & 入園進級式～

暖かな春の風に誘われて、桜の花も咲き始めた4月、新たに定員 40 名の認可保育園として0歳児～5歳児までのお子様をお預かりする保育園に生まれ変わります。今まで通り園児



一人ひとりの成長に合わせた丁寧な保育を行っています。新しくスタートする3歳児以上は異年齢保育を行い、異年齢児との関わりの中でお互いに育ち合いながら、遊びを通して様々な感性を豊かに育めるような環境です。今年度も保育園職員一同一丸となって保育の充実に努めてまいります。

あゆみ保育園
園長 濱中美穂

デイサービス センター

あゆみえんです!

この春のデイサービスでは、あたたかな季節感を感じながら様々な場所に出かけました。買い物をしに街へ出かけたり、青梅街道沿いにあるお洒落なカフェに、優雅な時間を堪能しに行ったり、とても楽しい外出をたくさん行うことができました。

買い物では、あゆみえんの近くにある大型衣料品店で今年の春の装いを求めてショッピングをしました。なかでも、仲の良い女性同士のショッピングでは、あれこれ目移りして、次々と買い物かごに入れる人、お気に入りブランドの至極の一品に巡り合うまで真剣なまなざしで商品を選ぶ人など、それぞれの買い物スタイルで楽しめる様子が見られました。

また、お洒落なカフェに外出する企画では、装飾きらびやかな店内で、おしゃべりしながら香り深いおいしいコーヒーを堪能しました。楽しくて少し緊張するひととき、普段はできないとていい体験になったと、みなさまからご好評をいただきました。

今後も様々な企画を通して、みなさまと一緒に楽しい日々が送れるよう、たくさんの企画を用意していきます。デイサービスセンターあゆみえんをどうぞよろしくお願いいたします。

介護1課 金子知雄

～アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）～

人生の最期を、病院で看取れるとは 限らない時代が来るかもしれません。

地域包括課：木住野雅之 聴き手：出目基



★先日、アドバンス・ケア・プランニング（以下：人生会議）の講座をされていましたね。これはどういったものなのでしょうか？

木住野：現代では医療の発達で寿命が延びた事で高齢化率が上がっている状況にあります。一方、チューブや機械につながれて「回復の見込みがないのなら、安らかにその時を迎えたい」など自分らしい最期を迎えたい方々も多数いらっしゃいます。また、自分が死ぬまでに家族にこれだけは伝えておきたい！という思いを抱えた方もいるのではないのでしょうか？医療介護、財産貴重品、葬儀、相続、自分の想いや考え方・プロフィールも大切です。

しかし、実際には命の危険が迫ってきた状態になると3/4の方が自分の思いや意向を伝えられないと言われています。「人生会議」は元気なうちに、「自分がどうしたいか」周りの人に知っておいてもらおうということです。

★私としては、自分が死ぬときには普通でいいかな、という意見なのですが。

木住野：少し重い話になってしまい申し訳ないのですが、日本は超高齢化社会となり、今後は多死社会が到来します。しかし実は病院の数は年々減っています。単純に考えると、亡くなる時に病院が空いておらず看取り難民が増えていくという事が予想されます。自分は人生の最期の時を、どこで、どのように迎えたいか、元気なうちから考えておくことが重要になってくると思われます。

ショートステイ



ショートステイでは、お菓子づくりや季節にちなんだイベントを実施しています。

お菓子づくりでは「フルーツサンド」や「フレンチトースト」などを調理しみなさまで美味しくいただきました。「美味しいね」「また作って食べたいわ」と笑顔で参加されていました。

また、2月は節分です。各ユニットで豆まきを行いました。鬼のお面をかぶった職員に「鬼は一外、福は内！」と豆をまかれていました。

そして、あゆみえんショートステイならではの行事があります。世代間交流です。あゆみ保育園の園児がユニットに遊びに来てくれます。ボール投げをしたり、折り紙を折ったりしている園児をご覧になり、みなさま笑顔が溢れます。また、4月からはあゆみ保育園の園児が増えます。より一層楽しい時間になるのではないのでしょうか。

ショートステイでは、これからもみなさんが楽しんでいただける行事を企画していきます。

介護2課 坂本千春



おしえて! EPA!



レギナさん ワンティさん

昨年12月からあゆみえんの仲間になったレギナさんとワンティさん。
来日前のこと、そしてインドネシアの行事について教えてもらいました。

福：お二人は、インドネシアでは何をされていたのですか？

レ：大学生です。看護の勉強をしていました。

ワ：看護師を5年間していました。

福：お二人とも看護が専門ですね。

ワ：はい。その時の知識が介護するとき役に立っています。

福：とても心強いです！あゆみえんの生活はいかがですか？

レ：だいが慣れました。職員のみなさんが丁寧に教えてくれます。日本語を直してくれるのでとても助かります。

ワ：看護師のときは、病気の患者さんを助ける仕事でしたが、介護では利用者さんの困っているところを支えるという考え方の違いを感じます。

福：ところで、このインタビューはあゆみ春号に載るので、

インドネシアの春の行事を教えてくださいませんか？

ワ：インドネシアに春はありません。夏と雨季のふたつです。

福：え？そうなんですね。では今頃のイベントはありますか？

レ：4月に学生の試験があります。国が行う試験で、一斉に同じ問題を解きます。合格しないと卒業できません。

福：厳しい！

レ、ワ：はい！

四季がある日本、4月に卒業試験があるインドネシア、自然も社会の仕組みも異なる中で働きながら介護福祉士の資格取得を目指すEPA職員たちに、私たち日本人職員も刺激を受けています。互いに協力し合って快適なサービスを提供して参ります。

聞き手：総務課 福岡直子

青梅紹介

澤乃井酒造（小澤酒造株式会社）

青梅には澤乃井酒造という酒造があります。

スーパー等でも販売されている日本酒「澤乃井」の酒造です。

ここでは昭和41年から酒造見学を行っており現在も実施しています。55年前からこういった見学を行い、お酒の作り方、行程、利き酒を行っているそうです。

秩父古生層の岩盤を掘り抜いた洞窟の奥から湧き出づる仕込水。連なる山々と豊かな緑、澄み切った奥多摩の空気、選りすぐった原料米、磨き上げた技。それを集結して一滴の美酒として仕上げる。真心と研鑽努力が澤乃井の信条です。

味はすっきりして辛口。ほのかにフルーティー。飲みやすい印象を受けました。

是非青梅に来た際は澤乃井の酒造見学をお勧めします。

介護3課 課長 石井美正

□ あゆみえんインフォメーション □

詳しいお問い合わせは、あゆみえん、相談課まで

電話 **0428-30-5550**

あゆみ VOL.95

発行 社会福祉法人 徳心会
特別養護老人ホーム あゆみえん 広報委員会
〒198-0024 青梅市新町9丁目2153番地3
TEL.0428-30-5550 FAX.0428-30-5570

発行人 園長 五島泰嗣
編集人 広報委員長 阿部裕樹
発行日 令和2年 4月20日
E-mail ayumien@tokushinkai.jp
HP https://tokushinkai.jp/



※写真につきましては、ご利用者およびご家族の了解を得て掲載しております。

青梅日和

寒い時期が明け、暖かな春の日差しを感じる季節となりました。あゆみ保育園では新しい園児たちが元気に入園しました。これから世代間交流や、行事で一緒に楽しい時間を過ごしていきたいと思います。

あゆみえんでは今後も様々な季節を感じる行事を開催し、ご利用者の笑顔が見られるよう職員一同より良いサービスを提供してまいります。

今年度も広報誌を通して、ご家族や地域の皆様にあゆみえんの様子やお知らせ等をお伝えしていきたいと思っておりますので楽しみに。

介護5課 武藤桃子

イラスト：介護4課 久保田萌奈

